

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別小学校大運動会が6月3日(日)に開催されました。昨年とは打って変わって日傘がほしくなるほどの暑さとなりましたが、暑さに負けないほどのパフォーマンス。全児童、親子の絆がより一層深まる「大運動会」となりました。


JA中春別

7月号

2018 Vol. 486

第44回中春別農業協同組合通常総会



総会の挨拶を述べる小湊組合長

第44回中春別農業協同組合通常総会が6月7日(木)、農業者団地センターで開催されました。

力強い農業と、豊かで魅力ある地域の実現



議案第1号の説明をする佐藤専務

総会に先立ち優良組合員表彰、乳質改善・良質乳生産組合員表彰、経営移譲感謝状授与、永年勤続職員表彰、新規就農者激励状授与が行われた後、小湊組合長から挨拶（別記参照）がありました。総会の成立については、正組合員261人（本人出席86人、書面及び代理出席108人）が出席し、議長には豊原地区の中村貞志氏、美原地区の浮川優氏が指名され議事に入りました。



議案第1号「平成29年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認について」佐藤専務より内容の説明があり、紫藤代表監事より監査報告がありました。関連があるため議案第2号「平成30年度事業計画の設定について」、議案第3号「賦

課金の賦課及び徴収方法について」が一括して上程されました。続いて特別議決事項の議案第4号「定款の一部変更について」が上程され採決により可決決定され、議案第5号「信用事業規程の一部変更について」、議案第6号「役員報



酬の支給について」全議案原案通り満場一致で承認されました。

報告事項1「JAバンク基本方針の変更について」、報告事項2「労働保険事務組合の平成29年度徴収・納付状況の報告について」佐藤専務より説明されました。議案審議終了後に

「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」を大山常務より読み上げました。



閉会にあたり、西川副組合長より「本年は中期計画最終年であり、検証をしながら来年の中期計画策定に努め、TPP11、日EUのEPAやRCEPなど貿易関税の削減や撤廃など不安要素がありますが、土・牛・人づくり、さらには基盤整備を行ない、安定した生活を守るために自主・自立・自由な発想の中で計画達成に向けて取り進めをいたしたい」と述べられ閉会いたしました。

平成30年度表彰者

- 優良組合員表彰者
小貫信夫（中春別地区）
- 乳質改善・良質乳生産組合員表彰者
橋本嘉篤（豊原地区）
- 経営移譲感謝状授与者
賣場利國（美原地区）
宗像宏充（美原地区）
長沼克彦（美原地区）
- 永年勤続職員表彰者（20年勤続）
水谷隆行
- 新規就農者激励状授与者
細川優作（豊原地区）
美由紀



初の生乳生産量12万トンを上回る



本日は、公私ともご多忙の中、行政、並びに系統連合会を始め、各関係機関と組合員の皆様のご出席のもと、本総会が開催出来ますこと、厚くお礼を申し上げます。

さて、我が国の経済は輸出増、国内の施設投資等を含め雇用環境の改善や、個人消費が底堅く推移している事から緩やかな景気回復基調が継続していると言われております。しかしながら、国際経済や為替相場、原油価格の動向など、海外経済の不確実性による景気後退のリスクが懸念され、今後の消費動向を含め、先

行き不透明な状況にあります。

国際貿易交渉につきましては、欧州連合との経済連携協定の大筋合意がなされ、来年の協定発効が予定されております。TPP II においては「新協定案」の承認案が実質確定され、早期発効に向けた国内手続きが進められる見込となっており、今後、酪農・畜産に多大なる影響を及ぼす懸念があり、将来に向けての不安を取り除く対策を求め、運動展開が必要とされます。

また、各農協系統組織は自己改革を進めておりますが、改正農協法が一昨年施行され、農業所得の増大に最大限の配慮をするとなっており、加えて農協組織の改革が求められております。こうした中、J A 北海道大会で決議した「農業所得20%増大」「新規担い手

の倍増」などの実践による自己改革を進めております。本年度は大会決議の実践3年目であり、政府が定めた期限に向けた最終年度であることから、本日、本総会におきまして、「着実な実践に関する特別決議」の提案をし、力強い農業と豊かな魅力ある地域の実現を目指すべく、決議をお願いするものであります。

農協改革の一つでもあります信用事業の譲渡・代理店化に関し、各農協自らの判断に委ねるとされておりますが、総合農協として信用事業継続のためには、他業態と同等の内部管理態勢が求められており、後ほど報告事項でもあります改正されたJ Aバンク基本方針の遵守が必要とされております。当農協といたしましては、今後、体制整備の強化を進めながら、各事業の一体的な機能の強みを発揮

させるために、信用事業の継続を進めて参ります。

本年度の酪農・畜産政策、価格対策は新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜安法の下、補給金・集送乳調整金合わせて単価が10円66銭と前年より10銭の上積みとなり、交付対象数量は10万ト減の340万トで決定されておりません。関連対策では畜産クラスター事業、業酪事業の拡充や酪農ヘルパー事業の充実、乳用後継牛の確保と生産基盤強化の緊急支援事業、生乳の流通合理化対策など、一定の予算措置がなされました。用途別原料乳価は、チーズ単価の引き上げにより前年並みで決着をし、入札による引き上げ効果もあることから、実質値上げとなりました。生産諸対策の活用を含めて経営基盤の確立を願うところでございます。

好天に恵まれ平年以上の収量と品質

昨年度は周期的に変動す

る気象条件のもと、日本各地に記録的集中豪雨が発生し、九州北部・北陸を中心に甚大な被害をもたらしました。当地区におきましても、台風18号の通過により農業施設の損壊、デントコーンの倒伏被害が発生したところがございます。一番草、二番草の収穫作業は、比較的天候に恵まれ順調に終了することができ、平年以上の収量と品質が保たれ、生乳生産に期待が持てる結果となりました。

このような環境下でありましたが、平成29年度の当地区内の生乳生産量は、12万1315トで、前年対比101・22%と一つの目安でもございました12万トを初めて上回る実績となりました。搾乳戸数の減少や、自然災害による被災の中、生産現場において、組合員の皆様を始め、ご家族が一丸となつて、生乳生産に取り組まれた日々のご努力に対し、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げます。次第でございます。

「生乳生産基盤・安定供

給強化対策」は、全道一律の目標伸び率103%を基本としながら、各農協の生産意向数量を各農協の目標数量として位置づけられております。当農協も出来る範囲で引き続き諸対策を講じて参りますので、目標数量に近づけるべく達成を切願いたします。

「畜産経営の安定に関する法律」が施行され、加工原料乳生産者補給金等の交付に関する措置について、恒久法として位置づけ、補給金交付対象を拡大し、指定を受けた業者に集送乳調整金を交付するなどの措置が講じられております。重要と思われるのは、長期的に先の展望を持てる酪農全体の在り方、また、生産現場の実態を捉えた政策誘導が必要とされます。

当地区におきましては、三本の河川の地域内に位置しており、将来に亘り漁業との共存共栄ができる地域社会を作ることが必要であります。組合員戸々の施設環境を確立する必要がある、現在、国営環境保全型

かんがい排水事業も進められております。一方では別海パイオガス事業への利用をしながら、施設整備の補完として活用されますようお願いを申し上げます。

総販売高が過去最高の実績となる

平成29年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体を合わせた総販売高が154億2500万円と、過去最高の実績を挙げることができました。これもひとえに、組合員とご家族皆様の継続性を持った日頃の弛まない努力と、JA事業へのご理解、ご利用の賜物と、深く感謝をする次第であります。後ほど議案の中で説明をいたしますが、磐石で強固な財務基盤構築のため、引き続き内部留保に向けてともに、出資配当をご提案させていただきます。組合員の皆様にはご理解を賜りたく、お願いするものでございます。組合員あつてのJAであり、健全なJAであつてこ

そ、組合員への支援も出来ると思っておりますので、より一層のJA結集とJA利用について、お願いを申し上げます。

平成28年度から平成33年度を目標とした地域農業振興計画と、平成30年度を目標とした第10次中期経営計画「未来ある地域づくり活動の実践」を推進して参りました。本年度は各種事業の検証を行いながら地域振興計画の見直しを始め、新たな第11次中期経営計画の策定を進めて参ります。

収益力向上に向け農協事業を展開

昨年度は、担い手の確保・育成・支援のため、共和育成牧場を法人化とし、「株式会社なかしゅんべつ未来牧場」をスタートさせました。研修機能を持つ生産施設が本格稼働し、現在、夫婦3組単身1人計7人の研修生が日々研鑽をしております。

将来の就農や地域内の担い手として順調な1年でも

ありました。今後、農協も全面的に関わりながら、地域を担う人材育成に取り組みで参ります。

中春別地域畜産クラスター協議会をはじめとする、各関係機関との連携により、地域目標の共有と地域全体の取り組みにより、生産基盤の拡充と生産性向上を図り、収益力向上に向け農協事業を展開して参りますので、組合員皆様を始め、各関係組織にはご協力をいただけますよう、改めてお願いを申し上げます。

現在の情勢を好機と捉え、中長期的な視野に立ち、前向きな姿勢で取り組んで参ります。

結びになりますが、行政を始め、系統連合会、並びに各関係機関に対しまして、今後とも、より一層のご指導とご支援を、心からお願いを申し上げます。本総会にあたりましての挨拶とさせていただきます。



一致団結し中央要請など 積極的な活動を実施

中春別酪農対策協議会（伊藤一吉会長）では、6月1日（金）農業者団地センターにおいて小湊組合長、西原町議ほか来賓出席の中で第43回通常総会を開催いたしました。

開会にあたり伊藤会長より「今次の運動展開にあたっては、常任委員が一致団結して積極的な活動展開を実施し、中央要請や農林水産省生産局との意見交換では、生産者の声を直接中央へ届け、経営安定対策や関連対策を中心に事業継続の重要性など要請活動を行い、道農政部との意見交換では草地更新の予算措置に加え、新規就農対策及び担い手対策について理解を求め



るべく要請をいたしました。

また、数年ぶりに生活クラブ連合との意見交換を実施し、生産者と消費者の情報交換を行い、全道・地区酪対に関して、組織討議による提言を積極的に行つてまいりました。

引き続き、農協を代表して小湊組合長、来賓を代表して西原町議より酪農情勢等を交えたご祝辞をいただき議事へと移りました。議長には美原地区の関矢泰朗氏が選出され、議案第1号から第4号まで全議案可決決定されました。平成30年度の新役員構成は次の通りです。

会長 伊藤一吉(再)
副会長 高橋真悟(再)



副会長 浮川 優(再)
副会長 中村貞志(再)
会計 片岡卓也(新)
監事 伊藤孝彦(新)
監事 山本広行(再)
監事 島崎 清(再)

本年度も昨年度同様、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1番草収穫作業がスタート

春先は温かい日が続き牧草の生育も順調に推移していましたが、6月に入りやや天候が崩れたものの、6月17日より中春別の1番草収穫作業が本格的にスタートしました。

牧草の収量は例年の8〜9割程度との声があり、今後の粗飼料不足が懸念されます。酪農家にとって1年間でもっとも忙しい収穫期を迎え、睡眠不足や疲労困ぱいの中での作業が続いていると思いますが、農作業事故には十分に注意し良質粗飼料の確保に努めましよう。



根室管内農協組合長会主催による クロスブリーディングセミナー開催

5月29日、クロスブリーディングセミナーが、根室管内クロスブリーディング導入推進プロジェクトの一環として、根室管内農協組合長会主催により中標津町総合文化会館「しるべつと」で開催されました。



講師のフランス人コーベックス社・フェレロー・ロシェ氏

根室管内の酪農家を始めJA職員、関係機関職員など総勢111人の出席の中、根室管内農協組合長会を代表して小湊組合長より、管内各農協及び関係機関で構成するクロスブリーディング導入推進プロジェクトの経過を交えた開会挨拶が行われました。

講師にはフランスのコーベックス社のフェレロー・ロシェ氏があたり、「モンベリアード種を利用した収益性を求めた牛づくり」と題し、通訳には全農畜産サービスの小原氏があたりました。

クロスブリーディングは、乳用種の品種間交配を行う乳牛改良システムであり、近年、北欧やアメリカなどで長命連産、経済性を重視した手法という説明がされておりました。

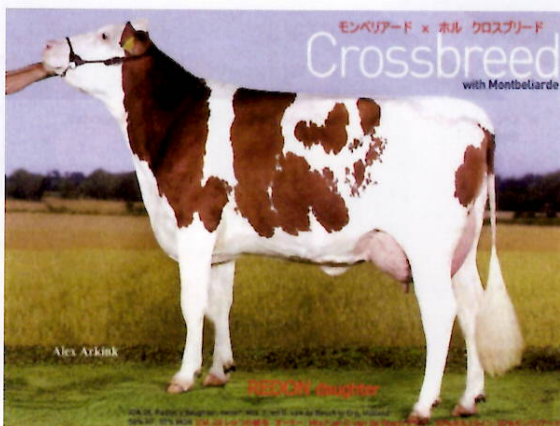
根室管内クロスブリーディング導入推進プロジェクトチームとして、当農協畜産課がメンバーになっておりますので、興味がある方は農協畜産課にお問い合わせください。

カリフォルニアにおける試験結果

	ホルスタイン	モンベリアード ×ホルスタイン	(モンベリアード) ホルスタイン)クロス スの優位性
頭数	416	503	
305日	11,417	10,744	-5.9%
生涯乳生産量(kg)	28,086	32,891	17.1%
生涯乳脂肪率(%)	3.5	3.7	0.2%
生涯乳蛋白質(%)	3.1	3.2	0.1%
生涯乳脂肪量(kg)	996	1,217	22.2%
生涯乳蛋白質量(kg)	871	1,050	20.5%
体細胞スコア	3.27	2.98	-8.8%



開会の挨拶を述べる小湊組合長



青年部研修部会・勉強会

草地整備事業・更新工程を 分かりやすく説明

青年部研修部会（相澤部会長）では、部員を対象とした勉強会を、6月8日（金）農業者団地センターにて開催しました。

今回の勉強会は「草地整備事業について」と題し、水谷隆行当農協営農部営農振興課課長を講師に招き実

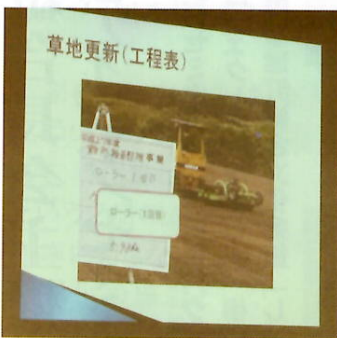
践、クイズを行う時間も

あり、和やかな時間となりました。



スライドを使って分かりやすく説明する水谷営農振興課長

施しました。始めに野矢青年部長より挨拶をいただき、勉強会へと移行しました。



説明後は質疑応答が行われ、疑問点や興味のある内容などを質問して、より深く理解することができました。

質疑応答後は、多くの部員が集まっている良い機会という事もあり、最近、行われた青年部事業の「教育大鋼路校ファームステイ受入事業」において、学生の受け入れをされました青野さん、平井さん、新千歳空港にて実施しました「牛乳・



乳製品消費拡大運動」に参加された、荒さん、柿本さんより、感想を話していただきました。4人の体験・感想を直に聞き、部員にとつては良い刺激となりました。

最後に相澤部会長より挨拶をいただき勉強会が終了しました。



部会の挨拶を述べる相澤部会長



ファームステイ受入事業の感想を話す平井さん



新千歳空港にて牛乳・乳製品消費拡大運動の体験を話す荒さん(左)、柿本さん

今後、経営移譲をされ、酪農業を引っ張っていく青年部員にとって、今後の酪農経営に大いに役立つ有意義な勉強会となりました。

根室地区青協・北海道教育大釧路校ファームステイ受入事業

酪農体験を通じ、食農教育の糧に

今年で6年目を迎える、根室地区青年部協議会主催の教育大生ファームステイ事業が5月25日(金)～27日(日)にかけて開催されました。管内の青年部員が受け入れを実施し、当地区より豊原地区の青野大地さんと中春別地区の平井優一さんの2戸で、各2人の教員を志す教育大生がファームステイ体験を行いました。

初日はJA標津にて入村式が開かれました。事前学習会では地区青協役員より、酪農に関する勉強会を行い、学生は真剣にメモを取りながら講義を受けていました。

入村式では根室地区青協会長の小杉会長、JA標津の今井組合長より挨拶がありました。その後、受け入れ盟友と学生の顔合わせが行われ、顔合わせの際には盟友と学生の緊張をほぐし、仲を深める事を目的に「アイズブレイク」を実施しました。自己紹介やじゃんけん列車を行い、お互いの距離も縮まったところで入村式を終えました。

牧場に到着し1泊2日の酪農体験が始まり、初めての

農作業体験へ。牛舎清掃や搾乳などといった、慣れない作業に戸惑いながらも作業に取りかかり、搾乳作業ではミルカー装着に慣れないうちは苦戦しながらも、懸命に作業をして、積極的に学ぼうという姿勢が見られました。作業後には受け入れ農家の家族と夕食を囲み、1日目を終えました。

体験を将来、子供たちの教育にいかせられたら

学生に話を聞くと「九州出身で、せっかく酪農地帯である北海道にいたので、ここでしかできないことを体験したい」と思い参加した。「将来、子供たちを教育するうえで、実際に体験をして、この経験を将来に活かせられ



たらと思いを話していた参加への思いを話していただきました。

2日目は、早朝からの作業。前日の作業手順を思い出し、スムーズな手つきで早々と作業を終えました。昼からは計根別学園まで移動をして、地区女性部との乳製品を使った調理実習を行いました。

女性協のデモ料理の「春の五日野菜牛乳煮」を調



理。完成後は参加者で昼食を取りました。調理の他には、女性協よりタペストリーを用いて「牛乳ができるまで」を説明していただき、最後には参加者で記念撮影をして、2日目が終了しました。

3日目の最終日、振り返り発表会が行われ、体験の前後で変わった酪農の印象や感じたこと、食育に対する考えについて発表しまし

た。その後、受け入れ農家とのBBQ交流会を開催しました。受け入れ時に話ができなかった事や、数人からは体験を通じた感想を話していただきました。最後に参加者全員で記念撮影を撮り、酪農体験が終了しました。受け入れ終了後、盟友からは「体験をする上で、安全面を意識したりと不安な面もあったが、積極的に作業をしたり、学ぼうという姿勢が見られて良かった」と感想をいただきました。今後も酪農体験を通じて、農村地域・酪農への理解醸成につなげていけたらと思います。



焼き肉を囲みながら交流しました

女性部はこんなことをしています！

「カラダの不調をすばやく簡単に改善！」

骨・筋膜・内臓を適切に動かす方法

J A根室地区女性部研修会が6月14日(木)中標津町交流センターにて開催され、当農協女性部から12人の部員が出席いたしました。

「カラダの不調をすばやく簡単に改善！」骨・筋膜・内臓を適切に動かす方法」をテーマに講演をしていただき実際に身体を動かしました。

なのはな整骨院院長・野村香先生による「フランクリンメソッドWS」をテーマに、身体の作りについて説明していただきました。

「フランクリンメソッドとは、『身体の動きや仕組みを知った上で、身体を動かすこと、大事なものはイメージすること』。

例えば、アスリート選手はケガをしても回復が早いのは、動かせられない箇所を動かすイメージトレーニングをすることによって、ギブスなどが外れた時にすんなり動かすことができ、早く元の状態に戻るることができるのです。

きつい筋トレではなく、動かす部位に意識を集中させ、イメージして動かすことによって効果は得られるのです」との説明に「ええ、そうなの？ 頑張つてやっても意味が

ないのね」と会場からは驚きの声。

実際に肺や筋膜が開いていること意識して動かしてみると、体がとても軽くなった！と即効果を実感している様子でした。



ガーデンアレンジで癒しのお庭へ 寄せ植え講習会

ハートフラワーチャリーさん(中標津町)の篠田さんご夫妻と、スタッフの方3人をお招きして、寄せ植え講習会を6月14日(木)に開催しました。

始めに代表の篠田さんから挨拶をいただき「花を綺麗に植えるコツは

立つ、這う、広がる花を組み合わせ
て植える
と、立体的に見える

て美しくなります。持つてきたハーブは、1〜2枚葉っぱをちぎり玄関

に置いておくと、通るたびに香りがして気分があがりますよ」、「ハーブをちぎって水に浮かべたり、ハーブティーや料理にも使えますよ」と教えていただき、部員からは「いいね、おしゃれ〜！」「その花の組み合わせはいい！」などの声があがり、それぞれが自分の好きな花・ハーブを組み合わせていました。

講師の先生にアドバイスをいただきながら花の配置、色の組み合わせなど試行錯誤しながら素敵な作品を作ることができました。



素敵なお作品ができあがりしました

趣味の会・木の実部会合同・ハーバリウム作り

趣味の会・木の実部会合同でハーバリウム作りが6月13日(水)に開催されました。

「新聞にハーバリウムの記事が載っていたんだけど、みんなで作ってみるのはどうかな？」と部員から提案があり、「いいね！作ってみたい！」との声からハーバリウム作りを行いました。

各自自宅にあるピンを持ってきてもらい、ドライフラワーやビー玉

など好きな材料をピンセットで入れて、専用オイルを流し込めば完成なのですが、ピンの形は人それぞれ違い、入り口が細長いものは入れるのに一苦労していました。完成した作品を見てみなさん癒されています。



それぞれ思い描いたものを丁寧に一つひとつ形にしていきます



見事に完成した作品を前に笑顔で

若返ったようで嬉しい!と好評でした

木の实部会・メイク講習会

木の实部会(野矢千鶴部長)では、ナリス ビューティーステーション デ・アイム中標津店より、4人の講師を招き、「ナリス ビューティーステーション」の基礎化粧品を使ったメイク講習会を6月20日(水)開催いたしました。

参加者のテーブルに並べられたメイク落とし、洗顔、化粧水、乳液のサンプルを自分達の手の甲に使用した後、講師の方に実際に顔につけてもらい、肌のキメや色のトーンが明るくなったのを実感。「肌がきれい

い！」という部員の反応に先生から商品の特徴や化粧水などのなじませ方が説明されました。

講習会最後にはたくさんのコスメを使って、ベトスメイクからリップの塗り方などを講師の方にお化粧品について教わりました。

参加者からは「こんなにも変わるのね、若返った気分ですとても嬉しいわ」と大満足の様子でした。



参加された皆さんとっても若くなりました





別海町産の乳製品を千歳空港でPR

6月4日(月)新千歳空港内の東急百貨店にてJA、青年部、女性部合同事業「牛乳乳製品消費拡大運動」を実施しました。

部員ら9人参加のもと、牛乳乳製品の消費拡大を目的として試飲会を実施し、同時に空港内を訪れる観光客や地域住民へ別海町のPRも行いました。

試飲会は、べつかい乳業興社の牛乳とコーヒー牛乳、飲むヨーグルト(プレーン、いちご味)を使用して実施。子供連れの来場者が多く、着ぐるみやプラカー

ドを用いた呼び込み、青年部Facebookでのイベント周知の影響もあり、沢山の来場者が足を運んでくださいました。中でも「モーちゃん」は観光客から大人気。記念撮影をして交流も図り子供たちも大喜びでした。

試飲やべつかい乳業興社



多くの来場者で賑わいを見せています

商品を購入された方には、ミルメーク、ティッシュやうちわなどの青年部、女性部オリジナルグッズを配布いたしました。持ち込んだ試飲商品の一部は、途中で配り切ってしまう追加をして試飲を行うほどの大盛況

ぶりでした。

消費拡大運動の一環として行った今回の試飲会を通して、別海町のPRができました。また、消費者と生産者を繋ぎ、牛乳乳製品の消費拡大の足掛かりとなる貴重な場となりました。参加された青年部・女性部の皆さんお疲れ様でした。

初乳の品質管理

子牛は初乳を飲むことによって初めて抗体を得ることができ、病気に対する抵抗力を持ちます。
 抗体が十分に含まれている高品質な初乳でも、細菌汚染があると、腸管での抗体吸収の阻害や細菌性腸炎(下痢)の発症リスクを高めます。今回は、初乳に「細菌を入れない」、「細菌を増やさない」管理について紹介します。

1 初乳を細菌汚染させない

健康な乳房から搾られた初乳は無菌状態です。しかし、洗浄不良のバケツミルクや哺乳びんを通すと初乳の細菌汚染が見られます。写真1は、搾り後の乳とバケツミルクで搾乳後の乳を細菌培養したものです。写真1(上)の農場は、バケツミルクの洗浄にアルカリ性洗剤を毎回使用しています。一方、写真1(下)はバケツミルクの洗浄に洗剤を使用していません。

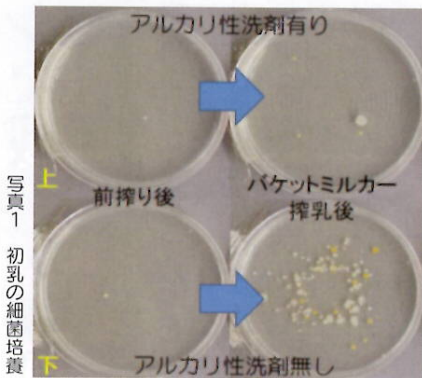


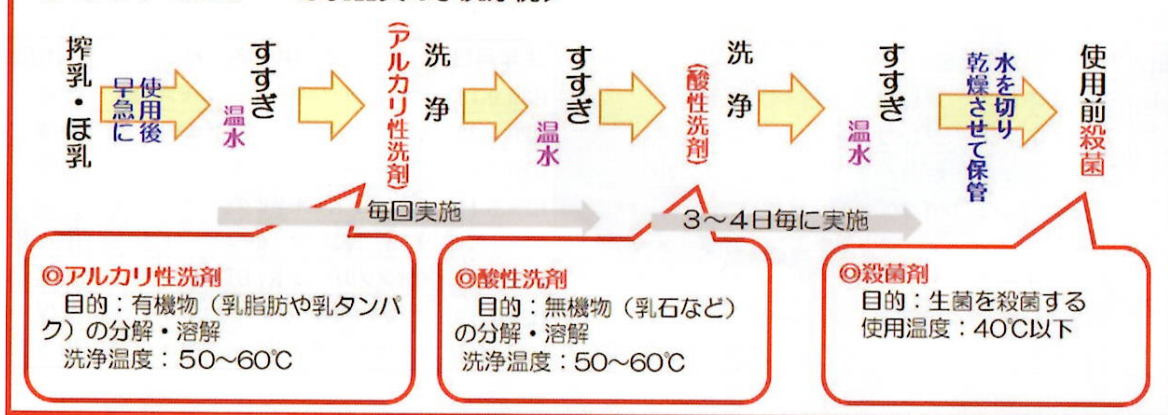
写真1から、専用洗剤を利用して乳タンパクや乳脂肪がしっかり落とすことの重要性が分かります。哺乳びんでも同様です。パステライザーで殺菌し、細菌数が減少した乳でも、哺乳びんの洗浄が不十分な場合、乳が細菌に汚染されている事例が見られます。

バケツミルクや哺乳びんなど哺乳に使う器具は、ミルク洗浄と同様にアルカリ性洗剤、酸性洗剤を利用して、衛生的に管理しましょう(下図「手洗浄例」)。

2 初乳中の細菌を増やさない

子牛に飲ませ、余った初乳をバケツなどに保存することもあります。
 その際、注意が必要なのは、保存温度です。搾乳後の初乳中細菌数が低い農場でも常温保存後、細菌数の著しい増加が見られました。

<バケツミルク・ほ乳器具の手洗浄例>



初乳中の細菌増殖を抑えるためには、バルク乳と同様に、4℃以下で保存する必要があります。搾乳直後の初乳を冷蔵庫に入れても温度の低下は緩やかです。細菌増殖を抑えるために、初乳の温度を速やかに下げる必要があります。そのため、水冷却してから冷蔵保存することを推奨します(写真2)。



写真2 冷水で一次冷却

冷蔵保存している初乳でも低温細菌が増殖するため、遅くとも翌日には使用し、2日以上冷蔵保存はしないようにします。2日以上保存する場合は冷凍保存しましょう。

細菌汚染の少ない良質な初乳の給与で、丈夫な後継牛を育てましょう。

根室ブラック & ホワイトショウ

ハイレベルな戦いが繰り広げられる

春のショウシーズン開幕!

5月13日(日)中標津町ホクレン根室地区家畜市場において、今シーズンのショウの開幕となる根室ブラック&ホワイトショウが行われました。

審査員には鶴居村酪農家瀧澤一成氏が務め、ショウ当日は好天に恵まれ総出品頭数59頭、当同志会からは4戸8頭が出品されました。

出品の「センターランド チャンプロウ アットウッド」が輝きました。

グラント・チャンピオンには道東あさひ別海 安部 克寿さん出品の「マウントエース マツカチエン アイオン」、リザーブ・グラント・チャンピオンには道東あさひ根室 中川佳代さん



同志会対抗戦では3位になりました



管内より59頭が集まりました

中春別乳牛改良同志会出品牛成績

部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
1	4	プロミネンス プレリユード	ソロモン	H29.9.18	ウオールナツトローン ソロモン ET	寺澤 佳吾
2	2	プロミネンス プレリユード	ブローミス	H29.6.22	ミスター アットウッド プロカウ ET	寺澤 佳吾
3	5	プロミネンス ビューテール	アリエル	H29.5.14	ビューホーム モントレー ET	寺澤 佳吾
3	7	SBF サンシャイン CG	ジエリー	H29.5.11	スタントنز キャピタル ゲイン ET	竹田 潤
4	3	リディア クイーン マツカチエン	オブ メープル	H28.12.16	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	佐々木靖裕
5	3	プレステージ シド	エヴァ	H28.9.29	ハインツリー シド ET	久保 光大
8	2	プレステージ ラスト	スリープ	H28.4.19	リンカーンヒル ショット レイザー ET	久保 光大
10	4	リディア クイーン	メープル オブ YMD ET	H26.12.1	メープルダウンスアイ G W アットウッド ET	佐々木靖裕

平成30年根室ブラック&ホワイトショウ チャンピオン牛

	部	名	号	父牛名号	出品者
グラント・チャンピオン インターメディアイト・チャンピオン	9	マウントエース マツカチエン	アイオン	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	JA道東あさひ別海 安部 克寿
リザーブ・グラント・チャンピオン リザーブ・インターメディアイト・チャンピオン	10	センターランド チャンプロウ	アットウッド	メープルダウンスアイ G W アットウッド ET	JA道東あさひ根室 中川 佳代
シニア・チャンピオン	12	マウントエース アメージング	ジョイ	ミスター アトリス アルタメijing ET	JA道東あさひ別海 安部 克寿
リザーブ・シニア・チャンピオン	13	センターランド チャンプ	ウッド	メープルダウンスアイ G W アットウッド ET	JA道東あさひ根室 中川 佳代
ジュニア・チャンピオン	4	バロンドール サンピラー		トックファーム ゴールドサン ET	JA道東あさひ別海 菊地 正明
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	2	バロンドール ヒンペル	ドリーム	ハルピツソフ ドアマン ET	JA道東あさひ別海 菊地 正明

北海道ブラック & ホワイトショウ

続いて5月26日(土)、27日(日)の2日間に渡り、安平町早来北海道ホルスタイン共進会場において2018北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員には恵庭市 酪農家の福屋栄人氏が務め、総出品頭数270頭(シヤージ種含む)の中、各部ハイレベルな戦いが繰り広げられました。

根室管内からは19頭が出品され、当同志会からは寺澤佳吾さん、久保光大さん、山田侑甫さんの3人が3頭を出品し、中でも寺澤佳吾さん出品の「プロミネンス プレリユード ブローミス」が第2部育成シニアクラスに出品し、出品頭数が最も多い49頭がひしめき合う中4位に入る活躍を見せました。

グラント・チャンピオンには北広島市 岩田政彦さん出品の「グランデール アストロ ルディーロイ」、リザーブ・グラント・チャンピオンには清水町 (有)田中牧場さん出品の「インデシブル ファイバーレイブン」が輝き、会場から大きな拍手、歓声が贈られました。

根室管内出品牛の多くも上位に入り、カウンティハード(支庁對抗戦)では4位に入る活躍を見せました。



全道各地より270頭が集まりました



見事4位に!!

ショウの技術や飼養管理技術が次世代を担う若手酪農家に継承され、中春別ホルスタインも若い出品者の活躍が目立ってきました。今後の活躍に期待しています。



北海道B&W初出品



見事なリード

中春別乳牛改良同志会出品牛成績

部	順位	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
2	4	プロミネンス	プレリユード ブローミス	H29.6.22	ミスター アツトウッド プロカウ ET	寺澤 佳吾
4	17	YMD	ロクセット モントレー リンプ	H29.1.18	ビューホーム モントレー ET	山田 侑甫
5	12	プレステージ	シド エヴァ	H28.9.29	パインツリー シド ET	久保 光大

2018北海道ブラック&ホワイトショウチャンピオン牛

	部	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グラント・チャンピオン シニア・チャンピオン	14	グランデール	アストロ ルディーロイ	H24.4.14	UFM-ダブス ゴールドロイ ET	北広島市 岩田 政彦
リザーブ・グラント・チャンピオン インターメディアイト・チャンピオン	11	インデシブル	ファイバーレイブン	H26.6.15	クラックホーム ファイバー ET	清水町 (有)田中牧場
リザーブ・シニア・チャンピオン	13	アマダ	プリンセス ゴールドチツプ ローザ	H25.5.27	ミスター チャシティー ゴールドチツプ ET	陸別町 (有)編田牧場
リザーブ・インター メディアイト・チャンピオン	10	ハツビーグローリー	レーガンクレスト メープル	H26.12.27	レーガンクレスト GV S ブラッドニック ET	上士幌町 熊谷 肇
ジュニア・チャンピオン	6	TMF	リラ スパーク ダスト インクスー	H28.8.1	シレット ティーウェーブ スパークリング ET	清水町 (有)田中牧場
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	7	セジス	ビューティ エルトン G チツプ マウイ ET	H29.8.14	ミスター チャシティー ゴールドチツプ ET	清水町 リードマン(有) 高橋 喜一 竹中 徳明

JA中春別乳牛共進会

愛牛たちが一堂に会し 資質を競いあう

JA中春別乳牛共進会が、6月2日(土)に(株)なかしゅんべつ未来牧場共和育成センター共進会場にて開催されました。

開催に先立ち牛魂祭及び農作業安全祈願祭が執り行われました。

当日は晴天に恵まれ、2年振りに屋外でショウウが行われることとなり、出品者の皆様が目頃より手塩にかけられた愛牛達が一堂に会し35頭のホルスタインがその資質を競い合いました。

審査員は、ご自身も数々のショウウでご活躍の根室市酪農家の佐久間俊氏が務められました。

迅速且つ丁寧な審査をしていただいた結果、シニアチャンピオンに山田光男さん出品「ライブリー ゴールド コレット」、ジュニアチャンピオンには寺澤佳吾さん出品の「プロミネンス プレリユード ブロームス」が輝き、審査講評中には観客や出品者も真剣に聞き入っております。

また、ジュニアリードマンショウウでは、小さな子供達が懸命に牛をリードする姿に会場からは応援の声があがっており、女性リードマンショウウでも多くの方々に参加していただき、堂々とリードする姿に会場が沸いていました。

今年もお昼には、毎年好評の青年部、女性部に協力していただいた、サイコロステーキ、ミルク豚汁の無料提供も大盛況でした。

天候が安定しませんが、春のショウウシーズンも一段落し、酪農家にとって1年間でも忙しい収穫期を迎えています。農作業事故や体調には充分にご留意の上、来るショウウシーズンに向けさらに研鑽を積んでいただき、より一層白熱した戦いが見られるよう楽しみにしたいと思います。



JA中春別乳牛共進会(1等1席)

部	名	号	生年月日	父	牛	出品者					
1	プロミネンス	プレリユード	ソロモン	H29.9.18	ウオールナットローン	ソロモン ET	寺澤 佳吾				
2	プロミネンス	プレリユード	ブローミス	H29.6.22	ミスター アツトウツド	プロカウ ET	寺澤 佳吾				
3	プロミネンス	ビューティール	アリエル	H29.5.14	ビューホーム	モントレー ET	寺澤 佳吾				
4	プレゼント	OK	ファイバー	ライオネル	ET	H29.1.25	クラックホーム	ファイバー ET	中西 裕哉		
5	YMD	スノー	マツカチエン	ベルベット	ET	H28.10.14	デスー	BKM	マツカチエン	1174 ET	山田 侑甫
7	YMD	ロクセツト	アツトウツド	ビル	ET	H27.9.13	メーブルダウンスアイ	G W	アツトウツド ET	山田 侑甫	
8	プレステージ	ズワルチエ	アフター	スパーク	H27.3.31	ジレット	ティーウエーブ	スパークリング ET	久保 光大		
9	ライブリー	ゴールド	コレット	H26.4.05	UFM-ダブス	ゴールドロイ ET	山田 光男				
10	スウィートブライアー	サンシャイン	ゴテン	08 ET	H22.9.25	ブレイデール	ゴールドウイン	竹田 潤			

JA中春別乳牛共進会チャンピオン牛

シニア・チャンピオン ライブリー ゴールド コレット H26.4.5 山田 光男 出品
 リザーブ・シニア・チャンピオン プレステージ ズワルチエ ラバー ショット H25.11.5 久保 光大 出品
 ジュニア・チャンピオン プロミネンス プレリユード ブローミス H29.6.22 寺澤 佳吾 出品
 リザーブ・ジュニア・チャンピオン プロミネンス ビューティール アリエル H29.5.14 寺澤 佳吾 出品
 最多出品者賞 寺澤 佳吾さん(6頭出品)
 最優秀ジュニアリードマン 牧野 ゆめかさん(保護者:牧野 修二さん) 参加者 12人
 最優秀女性リードマン 1位 浮川 優子さん 2位 石黒 瑞歩さん 3位 佐々木 貴子さん 参加者 12人

今年で8年目となる夢都里路くらぶ援農体験を6月13(6月15日の3日間の日程で、生活クラブ生協組合員及び組合員3人(根本恵理子さん、山崎美子さん、兼岡節子さん)を招き、(株)なかしゅんべつ未来牧場で酪農体験を実施しました。

生活クラブ連合会 夢都里路くらぶ援農体験2018

生産、製造を視察、体験して 食の「安心・安全」を再確認

中春別農協到着後、参加者同士の自己紹介と3日間の行程についてのオリエンテーションを行い、(株)なかしゅんべつ牧場へ向かいました。

(株)なかしゅんべつ未来牧場到着後、明日より始まる作業内容の確認のため、施

設内を回りながら行いました。参加者は近くで見ると、ラップロールの大きさと感動していました。夜には、消費者と直接話せる貴重な機会として懇親会を行いました。中春別酪農対策協議会より伊藤会長、斉藤常任委員、南澤常任委員、西原常任委員、農協より西



川副組合長、館内営農部長他職員、未来牧場から研修生・職員が参加し、生産者と消費者の貴重な意見交換の場となりました。最後に女性部からオリジナルのモーちゃんアクリルタワシ、ボールペン、軍手を参加者へプレゼントし「わー！カワイイ!!」と喜んでいました。

子牛の世話と搾乳作業

2日目からは本格的な作業の開始です。朝5時に牛

た。子牛の寝床の掃除をし、牛の移動を行いました。子牛の思いもよらない動きに悪銭苦闘していましたが、徐々に慣れていきました。

次は搾乳作業。ミルクカーを使うのも当初初めて。「こんなにいっぱい量が出るんだ！」と牛乳の出る量に驚きながらの作業で2日目を終えました。

座学と各工場を視察

3日目は、未来牧場での

舎に行き、実際に作業をしていただきまし

き、別海バイオガス発電(株)へ視察し、帰路につきました。

2泊3日と短い日程ではありましたが、食卓に並ぶ牛乳・乳製品や牛肉がどのような場所で生産・製造されているのかを見ていただけで、今後の消費拡大に繋がればと思います。また、参加された方については、農畜産物に対し正しい知識を身につけるために勉強をされていること、酪農体験を通じた消費者と生産者とのコミュニケーションを図り、また、「安心・安全」を十分に理解いただけたことと思います。

座学。その後、生活クラブ生協に流通している、別海バター製造工場(株)べつかい乳業興社へ行き、牛乳・乳製品の生産ラインを見学していただき

中春別小学校大運動会



輝け！みんなが 主役の運動会



子どもたちが待ちに待った中春別小学校大運動会が6月3日(日)に開催されました。昨年は雨の影響で1日延期となりましたが、今年は打って変わっての晴天に日傘がほしくなるほどの暑さとなりました。

始めに全校生徒によるラジオ体操で体をほぐし競技に入りました。

全校児童による徒競走から始まり、親子で行う二人三脚リレーでは、観客席から声援や笑い声があがったりと終始大盛り上がりとなりました。

紅組、白組に分かれ、1年生から6年生まで全児童による大玉リレー。2人1組になり体よりも大きなボールを思うように転がすことが出来ず、苦戦しながらも6年生まで繋ぎ、最後は最高の笑顔でのゴールとなりました。

全児童、親子の絆がより一層深まる「大運動会」となりました。



土ぼこりを上げ紅組、白組が真剣勝負



親子で力を合わせ全力で競技に挑戦!



思うように袋が口でとれず苦戦!



大玉に懸命にくらいつき転がす子供たち



中春別農協年金友の会（高橋昌晴会長）では、6月4日（月）に中春別ふれあいセンターにて第34回通常総会を開催しました。

開会を高橋会長の挨拶から始まり、「年金友の会の会員は、昔は180人いたが、現在は100人まで減少



総会の挨拶を述べる高橋会長

している状況なので、新規会員加入の促進を行っていくことが課題であります。年金友の会のメイン行事である旅行は、総会前に案内文書の送付を行い、取りまとめは終了していますが、今年度は7月22日（日）から2泊3日で旅行の計画をしました」との報告がありました。

多くの仲間をふやすため 新規会員の加入促進をはかる



議長に選出された高田珠夫氏



続いて小湊保代表理事組（合長、北海道信連釧路支所川越良則課長より祝辞をいただきました。総会進行にあたり、豊原地区の高田珠夫さんを議長に選出し、スムーズな進行で全議案承認

され終了しました。

総会終了後は パークゴルフで交流

総会終了後は中春別ヘルスパークにて、スポーツ交流会として16人参加者のもとパークゴルフを行いました。この日の別海町の最高気温は26度もあり、6月上旬にしては暑い日でしたので、水分をこまめに補給し、休憩をとりながら競技をしました。ボールが思っ



パークゴルフに汗を流す会員の皆さん



たより転がらず、力いっぱい打つとOBや障害物に当たったりと皆さん苦戦しているようでした。同順位はプレーオフを行うなど、終始楽しく競技を終えることができました。

9月にもスポーツ交流会を行う予定ですので、会員の皆様ご参加をお待ちしております。また、年金友の会に加入したい方は、中春別農協の窓口にお越し下さい。

ペレニアルライグラス追跡調査

追播で草地の植生改善を

良質粗飼料生産
利用対策委員会

5月17日(木)にシードマチックで追播したペレニアルライグラスの追跡調査を実施いたしました。追播後、1週間程度で発芽し、1カ月後には30cm程度まで成育しました。また、6月19日(火)に慣行区と試験区でそれぞれ生草分析を実施し、ペレニアルライグラスを追播した試験区の草地はCP・TDN・NFCなどの成分が高い値を示し、繊維分は低い値となりました。

生草分析結果

分析成分 (生草分析 乾物中)		試験区 (追播あり)	慣行区 (追播なし)
CP	早刈りやマメ科の多い牧草は高い数値を示す	12.34	10.70
TDN	消化利用される養分。刈取りの生育ステージによって影響	63.45	62.51
Oa	消化されやすい繊維	15.21	14.51
Ob	消化されづらい繊維	45.54	48.96
ADF	胃液で消化される繊維	34.82	37.15
NDF	飼料中の総繊維	60.02	62.56
NFC	第1胃内の微生物が利用するエネルギー。刈り遅れると低い数値を示す	19.48	19.38



6月19日



6月6日



5月28日

牧草を一杯食べて大きく成長してきてよ～!

夏期預託牛の入牧



▲家畜車から降ろされた牛ものんびり育って秋には見違えるように大きくなって飼主の元へ戻っていく事でしょう

を過ごし、のびのびと暮らし一回りも二回りも成長し、秋の下牧の際に組合員宅のもとへ帰っていくことでしょうか。



毎年行われています夏期預託牛の入牧が、6月4日(月)に共和育成センターにて行われました。早朝から家畜車に揺られ、元気いっぱいな牛たちが共和育成牧場に集められ、1頭1頭丁寧に降ろされた後、個体識別番号とネック番号の確認や授精牧区毎に振り分けられ、広大な牧草地帯に放牧されました。今年は450頭の牛たちが共和育成センターに預けられ、新鮮な牧草を食べて夏

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JA全中は政策決定のプロセス変化を踏まえ、夏前に政策確立に係る取り組みを強化する方向を示し、本年は6月7日に与党政策責任者に対して全国段階の政策提案を実施しました。

JAグループ北海道では全国大会に先立ち、道内選出与党国會議員に対して、JA北海道大会決議の着実な実践を通じた自己改革の進展に向け、課題となる准組合員の事業利用の維持、会計監査人監査への移行に伴う負担への配慮、中央会の連合会移行に伴う税制に関する所要措置など、農協組織基盤対策に関する意見交換を通じ、JA・組合員の負担増につながらない仕組みの構築について政策提案を実施しました。

JA北海道信連

JAバンク北海道は、認知度向上と地域活性化の観点から、6月12日のファイターズ公式戦を、JAバンク北海道スペシャルナイターとして開催し、来場者にファイターズとコラボしたオリジナルクリアファイルを配布しました。JAバンクイメーজキャラクターの松下奈緒さんが始球式を務め、ちよリスがYMC Aダンスを踊るなど、試合を大いに盛り上げました。



ホクレン



ホクレンは、社会・地域貢献活動「シーズプロジェクト」の一環として、児童養護施設の子どもたちに北海道日本ハムファイターズの試合を通じて元気と勇気を感じ、地元・北海道への愛着を持ってもらおうと、児童養護施設8施設に札幌ドームでの観戦チケット計200枚と限定ユニホームをプレゼントしました。この取り組みは、2013年から継続して実施しており、今年で6年目になります。



JA共済連北海道

JA共済連は、北海道交通安全協会に対し、飲酒運転撲滅うちわ5万本を始め、交通安全旗・交通安全のぼりを寄贈しました。「全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」2017年度入賞作品が掲載されたうちわは、全道各地の夏祭りやビアガーデンなどのイベント会場で配布される予定です。このような活動で地域住民の交通安全意識の高揚を図り、安心と安全の地域づくりに貢献してまいります。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



農業の明日をひらく 北海道農業会議が ラジオ番組を提供中!

イイコトイロイロ
STVラジオ
月曜～金曜
朝5時45分から

**オハヨー
農家さん**

今日のお天気と 病害虫情報

農家の皆さんの毎日のお仕事に役立つお天気と
病害虫発生情報をお届けしています。

番組内でコマーシャル放送中!
農家の皆さんの年金

農業者年金

- 農家の皆様とご家族を力強くサポート!
- 条件により保険料の国庫補助あり!
- 少子高齢時代に強く安定した年金です!
- 終身年金で80歳までの保証付き!
- 税制の優遇措置があります!
- 保険料の額を選ぶことができます!

詳しくは農業委員会またはJAへ

●【経営科】上春別中学校との連携授業

6月5日(火)に上春別中学校の2年生7人が来校して、本校基礎圃場にてカボチャの定植をおこないました。農業の専門的な知識や技術を学ぶのと同時に、中学生に高校生が農業技術を指導することとおして、社会性や指導性の向上を目的とした取り組みとなりました。



来校した中学生は、まず、温室にてカボチャ栽培についての説明を受けた後、本校基礎圃場に移動して、雪化粧とメルヘンという2品種の定植を丁寧におこないました。中学生の感想として、「かぼちゃを定植するには、たくさんの工程があることを知りました」「高校生のみなさんが丁寧に教えてくれたので、わかりやすかったです。秋の収穫でも多くのことを学びたいです」といった言葉がありました。



●【経営科】ふれあい祭りに参加!

6月9日(土)にJA道東あさひふれあい祭りに本校酪農経営科の1年生から3年生のうちの10人が参加させていただきました。このふれあい祭りには、平成26年度よりJA道東あさひ様のご厚意で参加させていただいており、今年も花苗、野菜苗、チーズなどを販売させていただきました。



当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変大変有意義な販売実習となりました。酪農経営科では今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思っております。

●【専攻科】「酪農科学実験」

6月11日(月)～22日(金)の10日間「酪農科学実験」が開講されました。この講義は、自家牧草の栄養価や土壌を分析し、土壌管理や飼養管理に必要な知識を習得し、分析値より実際の給与量をシミュレーションする目的として実施しています。また、乳房や飼槽などから細菌を採取し、衛生管理を学ぶ実験も実施しています。

【飼料分析実験】

飼料分析に必要な試薬の調製と乾物の測定など、初めて使う実験器具になれない様子でしたが、無事に試薬の調製や乾物測定を行うことができました。また、牧草中の飼料成分の測定を行い、牧草に含まれる含有量を実際に見ることができ、標準値と比較し良い牧草とは何かと改めて考える良い機会となりました。



試薬調整の様子

【細菌培養実験】

この実験では大腸菌群ならびに一般細菌数の測定を行います。実際に牛糞中の細菌測定や自家牧場の一部に培地を設置し、培養後生菌数を定量する作業を行いました。また学生の手指からも細菌を採取し、培養することで手指にどのような細菌がいるのか可視化させることで、衛生管理の徹底が改めて重要だと理解できたようです。



細菌培養の様子

【土壌・堆肥分析実験】

この実験では自家牧場の採草地の塩基成分を検証することができ、堆肥実験では簡易分析により、堆肥中の肥料成分を測定することができます。その結果、化学肥料散布時の肥料を減らすことにつながる事が分かり、分析した結果を基に自家牧場の土壌について考えるよいきっかけとなったようです。



分光光度計による様子

【学生からの感想】

受講した学生からは、「飼料・土壌・堆肥分析を実際にやってみると分析にも手間がかかり、酪農が様々な分野との関わりの上で成り立っていることが分かった」「分析の実験に様々な薬品や分析装置を使用していることが分かり、実際に堆肥や牧草を使って実験することができて良かった」などの感想があり、充実した酪農科学実験となりました。

別海高等学校農業特別専攻科 説明会のご案内

日時：平成30年8月3日(金) 10:30~14:30

場所：専攻科ゼミ研究室

内容：①専攻科とは(取得できる資格・学費・進路など)

②どんな専門的な授業をしているのか

③体験授業や施設見学など

働きながら
2年間学べます

ニュージーランド
研修(半額助成)が
あります

18歳以上なら年齢
制限はありません

農業次世代人材投資
(準備型)対象校です



参加希望、内容のお問い合わせは下記まで

〒086-0214

北海道野付郡別海町別海緑町 70-1

北海道別海高等学校農業特別専攻科

TEL(0153)75-2053 FAX(9153)75-2263

ホームページ <http://www.bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

E-mail bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp

2019年度 学生募集

～根釧酪農郷からの出発～ 北海道別海高等学校農業特別専攻科

入試日程等(1次) 募集人員20名 修業年限2年間

- ・願書受付 平成31年1月9日(水)から平成31年1月22日(火)正午まで
- ・検査日 平成31年2月5日(火)
- ・合格発表 平成31年2月13日(水)
- ・検査内容 作文および面接
- ・願書配布 平成30年11月30日(金)

農業特別専攻科の特色

- ・18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学ぶ2年制の過程です。
- ・牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

実習先農家条件(例)

- ・3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代(7~8万程度)支給。
- ・親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。
- ・正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。



- ・海外研修(ニュージーランド)が履修出来ます(2年次希望者)。
- ・農業次世代人材投資資金(旧・青年就農給付金)(準備型)制度対象校です(要審査)。

年度始め納入費

- ・入学金や授業料など 45,550円
- ・後援会・学友会費など 41,550円
- 合計87,100円

※平成30年度入学生初年度

H28年度卒・浜中町後継者 下元 翔太さん



昨年まで、車で片道40分ほどかけて通学し、専攻科で学びました。学んだスキルを生かし、将来の酪農経営の夢に向かって日々頑張っています。

説明会参加・資料請求等・お問い合わせ

別海高校農業特別専攻科まで

〒086-0214

北海道野付郡別海町別海緑町70-1

FAX. 0153-75-2263 Tel.0153-75-2053

URL. <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

Email. bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp

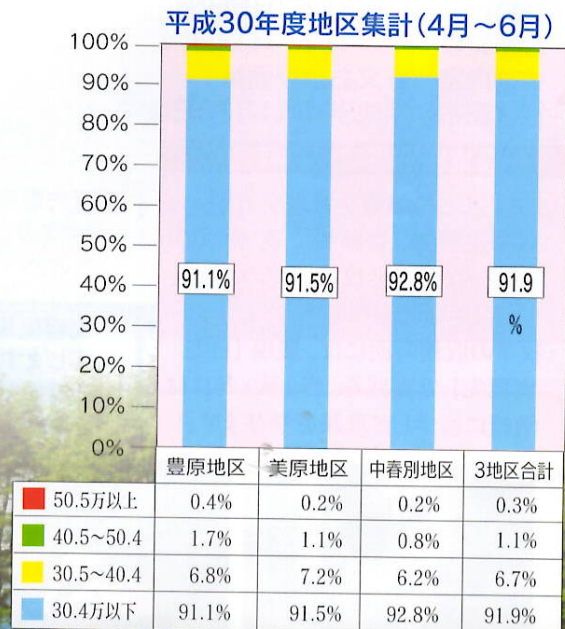
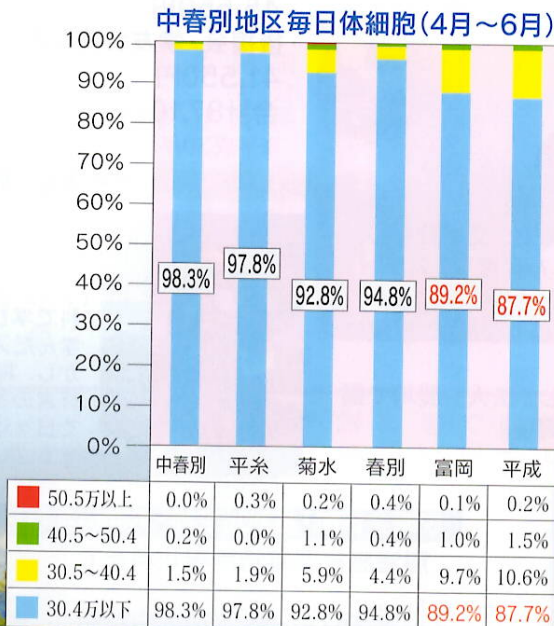
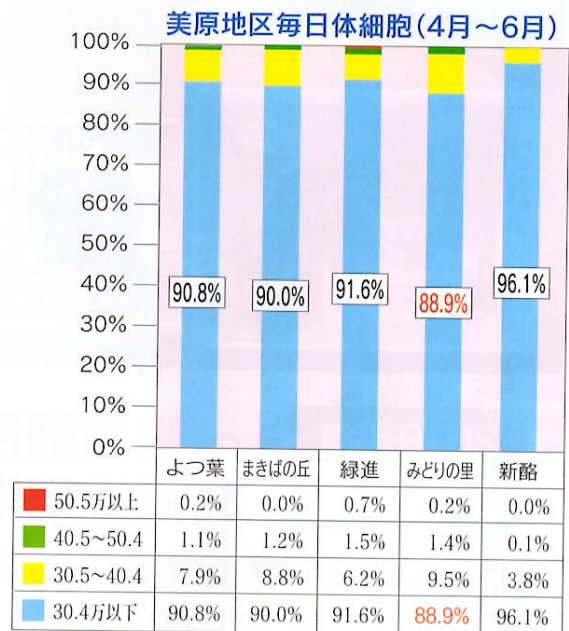
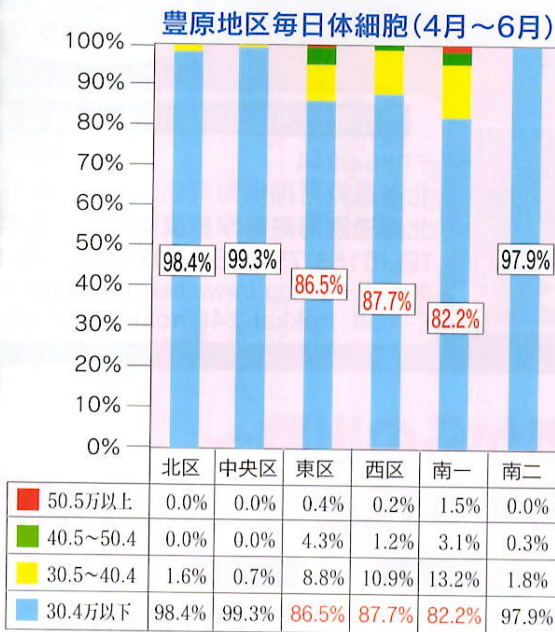


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **2件** 管内合計では**3件**です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**1件**です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。

良質で安全な生乳生産に努めよう！
衛生的な搾乳作業はもとより自動洗浄部以外の定期的な各部の点検洗浄の実施で生菌数削減に努めよう！

良質生乳生産推進委員からの標語



JJA中春別 組織機構図と職員配置図

平成30年7月1日現在



職員構成

区分	男	女	計
正職員	38	18	56
準職員	9	14	23
合計	47	32	79
検定員	3	3	6

異動・昇格者
新増採用者

機構構成

室	1
部	4
課	10
係	13
事業所	1介護
組織	1乳検

議 案

1. 平成30年度理事報酬額の配分並びに支給方法について
2. 第20回「宵の市」の開催について
3. 平成29年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
4. 労働力補充事業に係る協定書の締結について

報告事項

1. (一社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告について
2. 総体的なリスク量管理および事業量・リスク・資本のバランス確認の報告について
3. 内部管理態勢に係る指導要綱・JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
4. 要改善JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」のうち全中および農林中金が定める事項について
5. 固定資産の取得について
6. 平成30年度5月末営農関連実績について
7. 平成30年度新規就農に係る事業費について
8. 子会社の固定資産取得状況について

協議事項

1. 役員研修の実施について

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

5月分乳代支払単価

		単 価	算 出 基 礎	支 払 価	前 年 期	差	項 目	単 価(円)/(kg) %
乳 脂 肪 分		924.526		36.07	35.84	0.23	乳 脂 肪 分 ①	36円07銭
無 脂 乳 固 形 分		584.996		51.13	50.72	0.41	無 脂 乳 固 形 分 ②	51円13銭
生 産 者 補 給 金		6.3290		6.33			生 産 者 補 給 金 ③	6円33銭
集 送 乳 調 整 金		1.8687		1.87			集 送 乳 調 整 金 ④	1円87銭
補 給 金 合 計		8.1977		8.20	8.29	-0.09	脂 肪 率	全 道 3.90%
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	327,984,195.5kg	3.73	3.72	0.01	農 協 4.01%
			0	7,358,342.5kg				無 脂 固 全 道 8.74%
			-3	77,351.6kg				形 分 率 農 協 8.69%
	体細胞数	ランク1	2	289,605,649.1kg				成 分 乳 価 全 道 95円40銭
		ランク2	1	24,086,617.0kg				①+②+③+④=⑤ 農 協 96円12銭
		ランク3	-2	4,559,034.5kg				乳 質 乳 価 全 道 3円73銭
乳製品向原料確保奨励金					0.34	-0.34	⑥ 農 協 3円74銭	
合 計				99.13	98.57	0.02	乳 代 合 計 全 道 99円13銭	
							農 協 99円86銭	
							⑤+⑥ 差 異 0円73銭	

INFORMATION



退職にあたって

中西 伸明

退職にあたり一言お礼のご挨拶を申し上げます。

定年には数年早いのですが体調を憂慮し、6月30日をもちまして退職いたしました。

思えば昭和55年に中春別農協に奉職させていただき、38年間、人工授精師(24年)、経営相談課地区担当(6年)、生乳課(2年)、経営相談課(3年)、購買課(3年)と、直接組合員の皆様に関わる仕事をさせていただきました。これまで自分を育ててくださった組合員、役職員の皆様の温かいご指導の賜物と心より感謝を申し上げます。

最後になりましたが、組合員の皆様、役職員皆様のご健康と中春別農協が益々ご発展する事をご祈念申し上げ退職の挨拶といたします。

環境にやさしい、緑豊かな森林を目指して
J・A中春別植樹祭

農協主催の植樹祭が5月31日(土)、中春別地区富岡の農協所有地0.2haにおいて行いました。

当日は小雨のなかの開催でしたが、組合員を始め別海町、野付漁業協同組合、根室振興局、釧路開発建設部、別海町森林組合など多数の関係機関より参加いただきました。約100人の参加者が750本の苗木(ナラ・エンジュ他)をスコップ片手に協力し合いながら、1本1本丁寧に植樹をしました。

苗木から美しく豊かな森へとなることを願い、標柱杭を立て植樹祭は無事終了いたしました。

今後も中春別地域河川流域環境保全推進委員会を中心に、環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画ですので、皆様のご協力をお願いいたします。参加された皆様お疲れ様でした。



ホクレン旗争奪 第36回北海道少年軟式野球大会 中春別ジュニアホークス 野球少年団

祝 全道大会出場

8月4日 札幌市麻生球場にて大会開幕



がんばれ!
中春別ジュニアホークス

8月31日(金)は個人事業税・第1期の納期限です

今年度からコンビニエンスストアでも納税できます(バーコードが印字されているものに限りです)。

詳しくは、根室振興局税務課までお問い合わせください。

(問い合わせ先) 根室振興局税務課

〒087-8588 根室市常盤町3丁目28番地
課税に関すること(課税係)0153-24-5479
納税に関すること(納税係)0153-24-5466

組合員の広場



作品名「秋のオンネト」南澤明子さん



作品名「牡丹」南澤明子さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。